



Used in Lieu of PTO/SB/08A/B  
(Based on PTO 01-08 version)

<b>Substitute for form 1449/PTO</b>  <b>INFORMATION DISCLOSURE STATEMENT BY APPLICANT</b>  (Use as many sheets as necessary)				<b>Complete if Known</b>	
				Application Number	10/539,583-Conf. #4339
				Filing Date	December 5, 2005
				First Named Inventor	Hyung-Pyo YOON
				Art Unit	2834
				Examiner Name	Alex W Mok
Sheet	1	of	1	Attorney Docket Number	0630-2354PUS1

U.S. PATENT DOCUMENTS					
Examiner Initials*	Cite No. <sup>1</sup>	Document Number Number-Kind Code <sup>2</sup> (if known)	Publication Date MM-DD-YYYY	Name of Patentee or Applicant of Cited Document	Pages, Columns, Lines, Where Relevant Passages or Relevant Figures Appear

FOREIGN PATENT DOCUMENTS						
Examiner Initials*	Cite No. <sup>1</sup>	Foreign Patent Document Country Code <sup>3</sup> -Number <sup>4</sup> -Kind Code <sup>5</sup> (if known)	Publication Date MM-DD-YYYY	Name of Patentee or Applicant of Cited Document	Pages, Columns, Lines, Where Relevant Passages Or Relevant Figures Appear	T <sup>6</sup>
	BA	JP-2002-247796-A	08-30-2002			Abs
	BB	JP-62-20324-U	02-06-1987			Abs

Examiner Signature		Date Considered	
-----------------------	--	--------------------	--

\*EXAMINER: Initial if reference considered, whether or not citation is in conformance with MPEP 609. Draw line through citation if not in conformance and not considered. Include copy of this form with next communication to applicant. <sup>1</sup> Applicant's unique citation designation number (optional). <sup>2</sup> See Kinds Codes of USPTO Patent Documents at [www.uspto.gov](http://www.uspto.gov) or MPEP 901.04. <sup>3</sup> Enter Office that issued the document, by the two-letter code (WIPO Standard ST.3). <sup>4</sup> For Japanese patent documents, the indication of the year of the reign of the Emperor must precede the serial number of the patent document. <sup>5</sup> Kind of document by the appropriate symbols as indicated on the document under WIPO Standard ST.16 if possible. <sup>6</sup> Applicant is to place a check mark here if English language Translation is attached.

NON PATENT LITERATURE DOCUMENTS			
Examiner Initials	Cite No. <sup>1</sup>	Include name of the author (in CAPITAL LETTERS), title of the article (when appropriate), title of the item (book, magazine, journal, serial, symposium, catalog, etc.), date, page(s), volume-issue number(s), publisher, city and/or country where published.	T <sup>2</sup>

Examiner Signature		Date Considered	
-----------------------	--	--------------------	--

\*EXAMINER: Initial if reference considered, whether or not citation is in conformance with MPEP 609. Draw line through citation if not in conformance and not considered. Include copy of this form with next communication to applicant.

<sup>1</sup> Applicant's unique citation designation number (optional). <sup>2</sup> Applicant is to place a check mark here if English language Translation is attached.

B056038

整理番号:

発送番号:456461 発送日:平成19年 9月11日

1

拒絶理由通知書

平

特許出願の番号	特願2005-509621
起案日	平成19年 9月 6日
特許庁審査官	服部 俊樹 3736 3V00
特許出願人代理人	青木 篤(外 5名) 様
適用条文	第29条第2項

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものです。これについて意見がありましたら、この通知書の発送の日から3か月以内に意見書を提出してください。

理 由

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前に日本国内又は外国において、頒布された下記の刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覽参照)

- ・請求項 1
- ・引用文献等 1, 2
- ・備考

引用文献1の段落2, 3及び第4, 5図には、

内部にコイルが巻回されるボビンの外側に複数のシートが放射状に積層されて円筒状をなす外側固定子と、前記外側固定子の内周面から所定の空隙を維持するように該外側固定子内に配置され、複数のシートが放射状に積層されて円筒状をなす内側固定子と、前記外側固定子と前記内側固定子との間に配置され、複数のマグネットがその周囲に設置されるマグネット可動子と、前記外側固定子の一侧に設けられて前記外側固定子のコイルに外部電源を接続するターミナル部と、を含む往復動式モータの発明が記載されている。

本願請求項1に係る発明と引用文献1の発明とを対比すると、本願請求項1に係る発明は、外側固定子の周方向にターミナル部を基準にして等間隔で外側固定子に設けられ、シートが積層されない磁力バランス部が備えられているのに対し、引用文献1の発明では備えられていない点で相違する。

上記相違点について、固定ヨークの中に配置されたコイルに生じる電磁力を取り出す電磁力発生装置において、高精度に装置を駆動するために、ヨークの一部に設けられた開口部の反対側（対称の位置）に、別の開口部（磁力バランス部に相当）を設ける発明が、引用文献2に記載されている。（4頁20行－5頁4行、6頁16行－9頁7行及び第1－4図参照）。

引用文献1と引用文献2の発明は、電磁力を利用した装置という共通の技術分野に属し、かつ装置を高精度に駆動することは周知の課題である。

また、引用文献2のものは、コイルが外側ヨークに固定されて可動部が往復動するものではないが、外側ヨークに磁力バランス部を設けるという技術思想において、本願発明と差異はない。

したがって、引用文献1のものにおいて、装置を高精度に駆動するために、引用文献2の発明を採用し、ターミナルが配置されるために外側固定子の周方向の一部に設けられたターミナル部を基準にして等間隔で外側固定子に設けられ、シートが積層されない磁力バランス部を備えて、本願請求項1の発明のようにすることは、当業者が容易になし得たものである。

また、本願請求項1に係る発明の効果は、上記各引用文献の記載から予測し得る範囲内のものである。

- ・請求項 2－8
- ・引用文献等 1, 2
- ・備考

請求項2－8において、新たに付加された発明特定事項は、設計的事項であると認められる。

#### 引用文献等一覧

1. 特開2002-247796号公報
2. 実願昭60-111317号(実開昭62-20324号)のマイクロフィルム

---

#### 先行技術文献調査結果の記録

- ・調査した分野 I P C H02K 33/16

この拒絶理由通知の内容に関するお問い合わせ、または面接のご希望がありましたら下記までご連絡下さい。

特許審査第2部自動制御（電動機制御） 服部俊樹  
TEL. 03（3581）1101 内線 3356  
FAX. 03（3501）0671

弊所コメント

今回の拒絶理由で引用された引用文献1（特開2002-247796号公報）の〔図4〕，〔図5〕には、本願の〔図1〕～〔図3〕に示されるような、従来の往復動式モータが示されております。

また引用文献2（実願60-111317号（実開昭62-20324号）のマイクロフィルム）の第1～4図に示される開口部（A又はA'）が本願発明のターミナル部に相当し、またこの開口部（A又はA'）と対称の位置に設けられた開口部（B又はB'）が本願発明の磁力バランス部に相当するとされております。

ここで上記のような開口部（A及びB）を設けたことによる効果は、上記引用文献2の例えば第9頁第1～第7行に記載されております。

しかしながら上記引用文献2に記載のものは、本願明細書の例えば段落〔0009〕及び〔0021〕～〔0023〕に記載されたような、本願発明の目的・効果を奏するものとは相違するものと考えます。

そこで本願発明の特徴をより一層明確にするために、「外側固定子と内側固定子との間で往復する円筒状のマグネット可動子が外側固定子と衝突して、マグネット可動子の偏心運動による摩擦が生ずるのを防止する」点を、原請求項1で規定してはどうかと考えます。

つきましては、上記コメントをご参照の上、本拒絶理由に対する反論内容及びクレーム補正案につき、ご指示を賜りますようお願い致します。